



# 和小だより

弟子屈町立和琴小学校

9月30日 発行者 校長 渥美清孝

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

## ■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)

## 地域の宝

校長 渥美清孝

2年生の国語の教科書に『わにのおじいさんのたからもの』という物語が載っています。この物語では、おにの子が、わにのおじいさんに宝物の在処を教えてください。おじいさんは宝物をねらう悪人から逃げて来たのですが、おにの子の優しい態度や「宝物」という言葉さえ知らない純真さに心を打たれ、宝物の在処をおにの子に伝えます。宝の地図に記された場所に行き、おにの子が見つけた宝物は、「すてきな夕焼け」でした。おにの子は夕焼けが宝物だと理解してしまいましたが、その足元には本当の宝物が埋まっています。おにの子はそれに気づかないまま、物語は終わります。

物語には、おにの子とおじいさんの心の交流がユーモアを交えて描かれていますが、この物語を思う時、私の心に浮かぶ言葉があります。

長幼の序。

年少者が年長者を敬い、年長者が年少者を慈しむという関係の在り方を表す言葉です。

この言葉の価値は、本校が大切にしている「ふるさと学習」でも学びたい内容です。子どもたちにとってふるさととは、土地や自然、建物などといった有形の価値だけではなく、そこに生きる大人たちの生き方から子どもたちに伝わる無形の価値も含む概念です。

昨年度に続き、今年度も敬老会は中止になってしまいましたが、自治会のご理解とご協力をいただき、地域のお年寄りの方に子どもたちからのメッセージと手作りした鶴と亀の折り紙を贈りました。

その贈り物に対し、お年寄りの方から返信のメッセージをいただきました。たくさん戴き、書き切れませんが、感謝を込めて一部を紹介します。

「子供達の心のこもった言葉に縁起の良い鶴と亀の折り紙、心よりお礼申し上げます！ ありがとうございます！」  
「子供たちの一言が長生きにつながるものです。和琴の子供たちの心のこもったメッセージを有難う。」  
「明るい笑顔の写真と優しいはげましの言葉、大変嬉しく感動しました。心から、ありがとうございます。」

学習指導要領には、地域に開かれた教育課程の充実が謳われています。この考え方は、より良い学校教育を通じてより良い社会を創るという目標を地域と学校が共有し、連携・協働して、子どもたちの資質・能力を育成することを目指しています。

地域と学校は、深く強く繋がっているのです。

戴いたメッセージを読み、そんな心からの実感子どもたちに持たせながら、本校のふるさと学習を進めていきたいという決意をあらたにしました。

子どもたちは地域の宝です。

今後も、学校で大切にお預かりし、家庭・地域の皆様のご協力を戴きながら、子どもたちの良さを育む教育活動の実現に努めてまいります。

<10月の行事> 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	金	安全点検日	14:20 15:20	○
2	土	週休日		×
3	日	週休日		×
4	月		14:20 15:20	○
5	火		14:20 15:20	○
6	水	全校朝会 視力検査(1・2年)	14:20	○
7	木	視力検査(4年) 図書館バス	14:20 15:20	○
8	金	視力検査(5・6年) 児童会全体会議	14:20 15:20	○
9	土	地域文化体験(土曜授業)	11:30	×
10	日	週休日		×
11	月		14:20 15:20	○
12	火	色覚検査	14:20 15:20	○
13	水	公開研究会	14:20	○
14	木		14:20 15:20	○
15	金	収穫祭(給食なし)	14:20 15:20	×
16	土	週休日		×
17	日	週休日		×
18	月	就学児スクリーニング検査	14:20 15:20	○
19	火	就学児スクリーニング検査(予備日)	14:20 15:20	○
20	水	全校朝会 眼科検診	14:35	○
21	木	修学旅行(～22日) 図書館バス	14:20 15:20	○
22	金		14:20 15:20	○
23	土	週休日		×
24	日	週休日		×
25	月	いじめアンケート週間(～29日)	14:20 15:20	○
26	火		14:20 15:20	○
27	水		14:20	○
28	木	避難訓練(不審者)・防犯教室	14:20 15:20	○
29	金	実行委員会	14:20 15:20	○
30	土	週休日		×
31	日	週休日		×

※昨今の状況から予定が変更になる場合がございます。ご了承ください。

# 9月の和小っ子

## <ひまわりの絆プロジェクト>

5月の和小だよりでも紹介しました「ひまわりの絆プロジェクト」で植えたひまわりが大きく成長し、花を咲かせました。弟子屈警察署の方々とほくとくんが来校し記念撮影をするのと同時に、交通安全への意識を再確認しました。子どもたちには記念品もいただきました。弟子屈警察署の方々、ありがとうございます。



## <集合学習>

9月15日(水)にへき複2校(和琴小・美留和小)の集合学習がありました。1～4年生は和琴半島にて地域の齋藤敬子さんを講師にお願いし、ざりがにの体験とざりがにの観察と生態の学習を行いました。夢中でつりをする子どもの姿が印象的でした。5・6年生は体育と外国語の学習を行いました。どちらの学習でも普段より多い人数での活動ができることの喜びを感じる子どもたちの姿が見られました。そして、どの児童も普段一緒に活動できない他校の児童との交流を楽しめたひとときになりました。



## <後期児童会役員選挙>

9月17日(金)に後期の児童会役員選挙が行われました。児童会長は6年石井驍さんと5年齋藤来夏さんが、副会長には4年祖父江正雄さんが立候補しました。驍さんは、「優しい学校にしたい」来夏さんは「他の人を気づかってあげられる学校にしたい」そして正雄さんは「みんながゆずりあえて、認め合える学校にしたい」と立ち会い演説の場で話しました。児童全員で投票を行い、後期の二役が決まりました。児童の代表として活躍する2人の姿に期待しています。

後期児童会会長 6年 石井 驍  
副会長 4年 祖父江 正雄

## <敬老会の取組>

今年度も新型コロナ感染症拡大防止の観点から対面での自治会敬老会はできませんでした。それでも今年度は自治会から地域の敬老者に贈り物を送ることになり、学校としても子どもたちが心を込めて書いたメッセージカードと折り紙の鶴と亀と一緒に送っていただくことになりました。うれしいことにその中に同封した子どもたちへの返信のはがきがたくさん学校に届きました。内容も大変温かく、読んだ子どもたちも大変喜んでいました。



## <遊具の設置>

9月21日から令和2年度で閉校した奥春別小学校の遊具の和琴小学校への移設が始まりました。移設される遊具はジャングルジム、登り棒、雲梯、ブランコです。(一部はもともとあったものを撤去して移設)9月中にすべての移設が完了し、10月からは子どもたちが使い始める予定です。摩周植物園の方々、大変ていねいな移設作業、ありがとうございました。

## 抗原簡易キットの配付と検査の実施について

本校にも、抗原簡易キット(3セット)が文部科学省から無償配付されました。

この検査キットは、教職員が使用することを想定して配付されましたが、児童が登校後に体調不良をきたした場合で、すぐに帰宅することが困難な場合や、地域の実情により直ちには医療機関を受診させることができない場合に限り、補完的な対応として、小学校4年生以上を対象に学校長の監督のもと使用することが考えられます。

その場合、検査前に保護者への説明を行い、同意をいただく必要があります。

基本的には、体調不良をきたした場合、これまで通り、学校からの連絡によりお迎えに来ていただき、医療機関を受診していただくことになっておりますが、もしも、抗原簡易キットの使用が適当であると判断した場合、学校から保護者にご相談させていただくこともあり得ますことをご理解ください。

**※保護者と本人の同意が無い状態で使用することはありません。**